

製品名: CDCA5 (6T5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08534**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200
分子量	28kDa

抗原情報

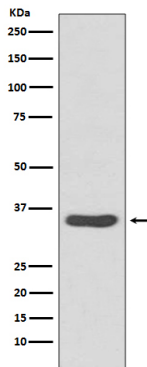
遺伝子名	CDCA5
別名	CDCA5; Cell division cycle associated protein 5; Cell division cycle-associated protein 5; p35; Sororin;
遺伝子 ID	113130.0
SwissProt ID	Q96FF9
免疫原	ヒト CDCA5 の合成ペプチド

背景

有糸分裂における姉妹染色分体接着の調節因子であり、コヒーシン複合体とクロマチンの結合を安定化します。クロマチンからのコヒーシンの解離を刺激する WAPAL の作用に拮抗する可能性があります。接着は、減数分裂細胞と有糸分裂細胞の両方で染色体の分配が正確であることを保証し、DNA 修復において重要な役割を果たします。効率的な DNA 二本鎖切断修復に必要です。有糸分裂における姉妹染色分体接着の調節因子であり、コヒーシン複合体とクロマチンの結合を安定化します。クロマチンからのコヒーシンの解離を刺激する WAPL の作用に拮抗する可能性があります。接着は、減数分裂細胞と有糸分裂細胞の両方で染色体の分配が正確であることを保証し、DNA 修復において重要な役割を果たします。効率的な DNA 二本鎖切断修復に必要です。

研究分野

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の CDCA5 発現のウェスタン プロット分析。